

メモ

湯立祭の準備について

日時：令和7年7月21日(祝日・月曜) 16:00 ~ 湯立祭

午前中 7月の神社掃除(中在地町・村松町)

役員：総務(天野)・会計(袖岡)

担当町：中在地町および村松町の役員

服装：平服(当番町は作業服)

準備品

拝殿の準備(神事)

当番町

掃除 および 神饌台(長台2・低い台3・小台1)、神樂太鼓

青竹4本(長さ4.5m)、注連縄(12m)、笹束を2束(巫女さん用)、杭(4本)、藁縄、かけや

釜置台(炊き口を東にする)、湯立釜、釜ふた、しゃく、鉄板(かまど下に敷く)、合板(かまど前に敷く)

割り木、柴、新聞紙、マッチ、ブローナイフ、脚立、かま、巻尺

本部員(総務)

三宝(8台)、お祓い棒2本(大幣(おおぬさ))、椅子(21脚)、

ござ(巫女さん用)、ござ2枚(拝殿用)、ござ2枚(拝殿から合板までの間に敷く)、

榊(3本+予備2本)、しで(3本+予備2本)、水引、半紙、しで(16枚(注連縄各面4枚)、

御神酒皿(30個)、とっくり(4個)、お盆、湯飲み用(コップ50個・紙コップ50個)、やかん

御神酒、塩、米、水、三宝：2セット用意

虫干しの案内(各町郷頭を通じて配布)：事前に配布済み

御神酒の拝受：全役員(担当町・顧問・保存会は拝殿下でうける)

湯の拝受：参加者全員(湯飲みおよび紙コップを使用)

お供品の購入

会計が担当

Aコープ京都中央で購入

桃(5個)、ぶどう(1個)、胡瓜(5本)、トマト(5個)、さつまいも(5個)、平ゆば(3個)、だし昆布(1個)

費用：円

宮司 および 巫女さんへのお礼

宮司：お供え品(車まで運ぶ)

巫女：¥15,000-(会長より届ける)

作業

1. 当日(7/21)の作業：
前日、竹採取する。(担当町：中在地町・村松町)
湯立て祭の準備(注連縄張り・湯かまど等)
拝殿の設営(役員)
御供え物の準備(会計・西河原町・忠在地町)

2. 境内の掃除(7月担当) : 中在地町・村松町
3. 注連縄作り : 担当町で準備
4. 竹(4本)は、担当町で準備
 - ・竹は細竹で、4. 5m。
5. 竹は神社へ持ち帰り、竹先の枝(2m)は残し、下から2. 5メートルまでの枝を落とす。(4本)
 - ・枝は湯立祭で使用(巫女・持ち帰り用)
 - ・神事終了後、全役員、参拝者に配布(30本程度)
6. 笹束を2束作る。(巫女さん用)
 - ・1束枝10本程度。
 - ・枝の長さは短め。
7. 注連縄、割木、柴、マッチの準備
8. お湯を沸かす
 - ・40分～50分まえに火をつける。
9. 後片付け

※各町内において掲示して頂いたポスターの撤去を依頼すること。

以上

湯立て祭(配置図)

